ザ ママさんバスケット
Japan Ladies BasketBall League 第27号

平成27年度　日本家庭婦人バスケットボール連盟「理事会」開催

平成27年度日本家庭婦人バスケットボール連盟の理事会が
去る5月16日（土）午後2時から東京都千代田区
中央大学駿河台記念館3階330号室にて開催されました。
総理事数52名 出席45名 委任状7名が報告され、
全理事の2/3以上の出席（委任状を含む）が確認され
理事会は成立し、開会されました。

役　職	氏　名	出　欠	役　職	氏　名	出　欠
会　長	橋本　章	出　席	常任理事／競技・審判委員長	橋本不二子	出　席
副 会 長	山田洋子	出　席	常任理事／事務局長	野口加代	出　席
副 会 長	白谷慶子	出　席	常任理事／総務委員長／普及委員長	杉浦八重子	出　席
理 事 長	榊原みどり	出　席	常任理事	佐橋眞理	出　席
副理事長／広報委員長	海老原矩子	出　席	監　事	田中悦子	出　席
副理事長	後藤淳子	出　席	監　事	高岡治子	欠　席
常任理事	江村幸子	出　席			

北海道	北海道理事	松本淳子	出　席	近畿	滋賀県理事	大塚由美子	出　席
東北	青森県理事	舘千賀子	委任状		京都府理事	橋本雅子	出　席
	岩手県理事	藤原さえこ	出　席		大阪府理事	菅原福子	出　席
	宮城県連盟競技委員長	板橋イネ（代理出席）	委任状		兵庫県理事	森本　操	出　席
	秋田県理事	鎌田ヒデ子	委任状		奈良県理事	吉岡雅子	出　席
	山形県理事	羽柴節子	委任状		和歌山県理事	箐　裕里	出　席
	福島県理事	中村智子	出　席	中国	鳥取県理事	成田博子	出　席
関東	茨城県理事	坂本佳子	出　席		島根県理事	持田孝子	出　席
	栃木県理事	矢野まなみ	出　席		岡山県理事	伊﨑基女	出　席
	群馬県理事	福本和章	出　席		広島県理事	河野淳子	出　席
	埼玉県理事	多田羅朋子	出　席		山口県理事	川本由美子	出　席
	千葉県理事	本郷美代	出　席	四国	徳島県理事	岡本紀久代	出　席
	東京都理事	馬場香保里	出　席		香川県理事	冨田由美	出　席
	神奈川県理事	石田昌子	出　席		愛媛県理事	山本直美	出　席
	山梨県理事	志村真弓	出　席		高知県理事	高橋小百合	出　席
北信越	長野県理事	小山ひろみ	出　席	九州	福岡県理事	野津智恵美	出　席
	新潟県理事	富井　茂	出　席		佐賀県担当者	草野啓子	欠　席
	富山県理事	高尾美津	出　席		長崎県理事	小柳奈々	出　席
	石川県理事	山村和惠	出　席		熊本県理事	野田美智子	出　席
	福井県理事	正玄千嘉子	委任状		大分県担当者	吉田　晃	欠　席
東海	岐阜県理事	小椋衣江	出　席		宮崎県理事	髙野しのぶ	委任状
	静岡県理事	富田あけみ	出　席		鹿児島県担当者	隈本昭朗	欠　席
	愛知県理事	松岡英子	出　席		沖縄県理事	稲嶺啓美	委任状
	三重県理事	鈴木則恵	出　席				

日本家庭婦人バスッケットボール連盟 平成27年度・平成28年度 役員

名誉会長	橋本 章
顧　問	手嶋 昇
顧　問	加瀬 正己
顧　問	大倉 敬一
顧　問	阿部 克三
参　与	栗田 和代
参　与	渡部 嘉子
会　長	山田 洋子
副会長	白谷 慶子
理事長	榊原 みどり
副理事長 広報委員長	海老原 矩子
副理事長	後藤 淳子
常任理事	江村 幸子

常任理事 競技・審判委員長	橋本 不二子
常任理事 事務局長	野口 加代
常任理事 総務委員長 兼 普及委員長	杉浦 八重子
常任理事	佐橋 眞理
監　事	田中 悦子
監　事	高岡 治子

常任理事 北海道ブロック	松本 淳子
常任理事 東北ブロック	小川 篤子
常任理事 関東ブロック	志村 真弓
常任理事 北信越ブロック	富井 茂
常任理事 東海ブロック	富田 あけみ
常任理事 近畿ブロック	菅原 福子
常任理事 中国ブロック	成田 博子
常任理事 四国ブロック	岡本 紀久代
常任理事 九州ブロック	野田 美智子

名誉会長ごあいさつ

名誉会長　橋本　章

このたび連盟会長を辞任するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。1997年連盟創立以来18年間の長きにわたり、会長を務められたのは、会員のかたがたのママさんバスケットボールにかける情熱と日本協会をはじめ関係先のご指導、ご支援の賜物であり、心からお礼申し上げます。

ママさんバスケットボールの原点は、全国各地でバスケットボールを愛するママさんが自然発生的にチームを作り、地域で活動を始めた点にあり、それが県組織になり、全国組織になったところに特色があります。全国大会33回、連盟18年という記録がそれを表しています。連盟史のなかで特筆すべきものに日韓親善大会があります。1982年に始まり、途中中断があったものの、親密な交流を深めてきました。故尹会長をはじめとする韓国側の深い理解と共感があって両国の困難な事情を乗り越え、今日に至っております。わたしも訪韓のたびに歴代会長をはじめ韓国チームの方々と親交を深めてきました。

もう一つはゴールデンシニア大会の開催と発展であります。ねんりんピックに協賛して、50歳以上の方を対象に計画し、第1回を2002年福島市で開催したときは、参加チーム11、選手120名でした。昨年の大会では、50歳以上のゴールデンの部62チーム、60歳以上のプラチナの部8チーム計70チーム、860名の選手が参加するまでになりました。連盟内で企画、実施した高齢化社会にふさわしい生涯スポーツを楽しむ大会といえるでしょう。全国大会、ゴールデンシニア大会、そして各ブロック大会と全国各地を訪問し、白熱したプレーを拝見するとともに盛り上がった親睦パーティで思わぬ多芸ぶりに感心したこともたびたびあり、ご案内いただいた風光明媚な名所旧跡の印象とともに、忘れられない思い出であります。

また、諸会議の運営にあたっては、熱心な議論が展開されたことが幾度もあり、それが連盟発展のつぎのステップにつながったと考えています。

山田新会長は、連盟の設立から今日に至るまで指導力を十分発揮されてきましたし、今後も期待に応えてくれるでしょう。ママさんバスケットボールのさらなる着実な進展についてわたしはいささかの不安も抱いておりません。連盟の発展ならびに会員各位のご健勝を祈念して、わたしの退任の挨拶とさせていただきます。まことに有り難うございました。

会長ごあいさつ

会 長　山田 洋子

皆様におかれましては、お元気でご活躍のことと思います。この度、5月17日の理事会において役員改選があり、橋本会長が退任され名誉会長に就任されました。1997年に日本家庭婦人バスケットボール連盟を設立した時、初代会長に就任をお願いし今日まで18年間、常に私どもの活動を見守りご指導いただきました。その長年のご尽力に対し心から敬意を表し感謝申し上げる次第です。

橋本会長の後任として不肖私が引き継ぐことになりました。お引き受けした以上、微力ではありますが皆様のお役にたてるよう精一杯務める覚悟をいたしております。今回選任されました連盟役員ともども、どうぞよろしくご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の地域での積極的な活動が、日本連盟の発展につながるものであります。今年は沖縄県が連盟設立を果たし、未組織の県は3県となりました。時のたつのはなんと早いのでしょう。まもなく連盟設立20年を迎え、周年記念事業の計画も予定しております。その時には全国すべてに連盟組織ができることを願っております。

今年も全国大会、ゴールデンシニア大会、ブロック大会等各地で開催されます。開催地の皆様には大変お世話になりますがよろしくお願いいたします。

また、いまだ進まぬ東日本大震災の復興支援に、今年も皆様のご協力をいただき、復興の一助となることを願い活動を行ってまいります。連盟の活動には皆様のご意見が推進力となります。すぐに実行できるもの、少し時間がかかるもの、長期に見ていかなければならないもの等多々あると思いますが、それらのことは運営する側、参加する側が、ともに思いやりを持って話し合い、生活実感に根差したママさんパワーならではのアイディアや工夫で、さらに充実した活動の場を広げていきましょう。

応援し支えてくださる方々に感謝の心を忘れずに、生涯“楽しく、怪我なく、元気よく”バスケットボールを通じて交流を広め、いきいきと生活する環境の充実と、次世代への普及活動に、連盟役員一同、精一杯務める所存ですので重ねてご支援ご協力のほどお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

理事・担当者紹介

北海道ブロック

北海道理事
松本 淳子

〈写真の無い理事〉
青森県理事　小川 篤子
宮城県理事　一方井 真理
秋田県理事　鎌田 ヒデ子
山形県理事　羽柴 節子

東北ブロック

岩手県理事
藤原 さえ子

福島県理事
中村 智子

茨城県理事
坂本 佳子

栃木県理事
矢野 まなみ

群馬県理事
福本 和章

埼玉県理事
多田羅 朋子

千葉県理事
本郷 美代

東京都理事
馬場 香保里

神奈川県理事
石田 昌子

山梨県理事
志村 真弓

関東ブロック

〈写真の無い理事〉
福井県理事　正玄 千嘉子

北信越ブロック

長野県理事
小山 ひろみ

新潟県理事
富井 茂

富山県理事
高尾 美津

石川県理事
山村 和惠

岐阜県理事
小椋 衣江

静岡県理事
富田 あけみ

愛知県理事
松岡 英子

三重県理事
鈴木 則恵

東海ブロック

近畿ブロック

滋賀県理事
大塚 由美子

京都府理事
橋本 雅子

大阪府理事
菅原 福子

兵庫県理事
森本 操

奈良県理事
吉岡 雅子

和歌山県理事
簾 裕里

鳥取県理事
成田 博子

島根県理事
持田 孝子

岡山県理事
伊﨑 基女

広島県理事
河野 淳子

山口県理事
川本 由美子

中国ブロック

四国ブロック

徳島県理事
岡本 紀久代

香川県理事
冨田 由美

愛媛県理事
山本 直美

高知県理事
高橋 小百合

九州ブロック

〈写真の無い理事・担当者〉
宮崎県理事　高野 しのぶ
沖縄県理事　稲嶺 啓美
佐賀県担当者　草野 啓子
大分県担当者　吉田 晃
鹿児島県担当者　隈本 昭朗

福岡県理事
野津 智恵美

長崎県理事
小柳 奈々

熊本県理事
野田 美智子

〈1〉全国大会の開催、ブロック大会の支援

第33回全国ママさんバスケットボール交歓大会

期日：平成26年7月25日（金）・26日（土）・27日（日）　場所：新潟県 佐渡市　両津総合体育館　他4会場

第13回全国ゴールデンシニアバスケットボール大会（ねんりんピック協賛イベント）

期日：平成26年9月27日（土）・28日（日）　場所：栃木県 那須塩原市　にしなすの運動公園体育館・三島体育センター体育館

ブロック大会

全9ブロック大会の後援団体として支援・協力 及び 大会視察による各ブロックとのコミュニケーション強化

各ブロック大会の報告

第20回（山口杯）北海道家庭婦人バスケットボール連盟結成記念大会

日 時　平成26年9月27日（土）・28日（日）

場 所　北海道 夕張市　ゆうばり文化スポーツセンター

参加チーム数

計20チーム（一般の部／札幌10・千歳1・深川1・帯広1・室蘭1・美幌1・北見1・小樽1・岩見沢1）
（シニアの部／札幌1・帯広1・個人参加1）

第16回 東北ママさんバスケットボール交歓大会

日 時　平成26年9月6日（土）・7日（日）

場 所　青森県 青森市　新青森県総合体育館（マエダアリーナ）

参加チーム数

計15チーム（一般の部／青森3・岩手2・秋田2・宮城1・山形1）
（シニアの部／青森2・岩手2・秋田1・山形1）

東北各県持ち回りとなって2巡目2県目(8年目)の第16回大会は、ねぶたの里・青森市で、新装なったスケールの大きな新総合運動公園内のマエダアリーナの3コートを使って、2日間に渡って熱戦が繰り広げられました。一般の部は、MBC(青森)が決勝リーグでSea☆Cats(青森)とチェリーズ(山形)に走り勝って、見事に優勝を遂げました。2位はSea☆Cats、3位はチェリーズでした。シニアの部は、準決勝で能代レディース（秋田)を下したアッパーズ(青森)と、北桐シニアーズ(岩手)を破ったWIN八戸(青森)との決勝となり、アッパーズがWIN八戸に1ゴール差の熱戦で下して、昨年の雪辱を果たしました。3位は能代レディースでした。日家連から橋本章会長が、大会や初日夕方の東北ママさん連盟の理事会に出席してくださり、地方の声に耳を傾けてくれました。懇親会(青森国際ホテル)には殆どの選手が参加して、登録チームの減少や高齢化という東北ブロックの喫緊の課題を、吹き飛ばすかのような大活躍を見せ、大いに盛り上がりました。また大会開催と運営にご尽力いただいた青森県・市協会の役員の方々や青森県ママさん連盟の長瀬会長さん、小川副会長さん、川田理事長さん、神事務局長さん、本当にありがとうございました。

初日夕方の東北ママさん連盟理事会では、連盟事務局(会長、理事長を含む)の持ち回り制が大きな議題でありましたが、東北ママさん大会開催、東北ママさん連盟創設、東北バスケット協会加盟、東北大会持ち回り制実施と、事務局が出来る以前から長い間、東北のママさんの仕事を担ってきた秋田県からの提案でもあり、了承されました。平成27年度から青森、山形、宮城、福島、岩手の順番で、2年ごとに東北ママさん連盟事務局が移ることになりました。8年前に東北ママさん大会が持ち回り制になって、各県共にご難儀をしたと思いますが、組織の充実など多くの相乗効果があったと思われます。事務局の持ち回りも1巡目までは大変だと思いますが、東北ブロック各県が協力し合って、東北ママさん連盟の新しい歴史を創って行きたいものです。

（東北ママさんバスケットボール連盟会長　千田 典夫）

第12回 東海ママさんバスケットボール交歓大会

日 時　平成26年11月29日（土）・30日（日）

場 所　岐阜県 大垣市　大垣市総合体育館

参加チーム数

計12チーム
（一般の部／愛知2・静岡2・岐阜2・三重2）
（シニアの部／愛知1・静岡1・岐阜1・三重1）

26年11月26・27日の二日間で大垣市体育館にて開催しました。一般は県2チーム・シニアは1チーム参加で行いましたが岐阜県の理事長から提案があり本年度初の試みでゴールデンシニア大会をエキシビジョンで行ないました。

各県それぞれ50歳以上でチームを作れている訳ではなく県での混合でも良いとか年齢が達していなくても若干良しなど東海4県のルールでの開催でした。試合内容は？本人はジャンプしてるつもり？走っているつもり？の連続シーンもあり、さすが昔取った…とか？とても楽しく笑いが耐えない試合でした。宿泊をしたチームなどは、普段家庭を切り盛りしている反動か？この時ばかりと発散して夜の宴会も試合同様頑張っているチームもありました。

東海大会もここ数年で1日開催が2日開催になり、ゴールデンシニア大会も開催する様になり当番県の理事さん達の苦労は大変ですが、それぞれ4県の理事長を中心とした運営は見事だなといつも関心しています。開催県の特徴を活かした大会をと理事長会議で話し合い、なるべく案をだして頂き受け入れる大会にしています。

（東海ブロック常任理事・静岡県家庭婦人バスケットボール連盟理事長　富田 あけみ）

第20回 関東ママさんバスケットボール交歓大会

日 時 平成26年11月22日（土）・23日（日）

場 所 群馬県 前橋市 ALSOKぐんまアリーナ（群馬県総合スポーツセンター）

参加チーム数

計32チーム
（一般の部／東京3・茨城3・栃木4・群馬3・埼玉2・千葉3・神奈川3・山梨3）
（シニアの部／東京1・茨城1・栃木1・群馬1・埼玉1・千葉1・神奈川1・山梨1）

第20回関東ママさんバスケットボール大会は、群馬県前橋市でおこなわれました。当日は、日家連副会長の山田洋子様のご挨拶を頂き、静かな語りの中に、バスケットボールを愛する情熱と優しさを感じる事ができました。

さて、今大会も1都7県から、シニア8チーム、一般24チームの計32チームの強豪ママさんチームが集結し熱戦が繰り広げられました。Aブロック(シニア)の優勝は、千葉県の『ハンプティダンプティシニア』。一般の優勝は、Bブロックは千葉県の『ハンプティダンプティ』、Cブロックは神奈川県の『VIOLA』、Dブロックは群馬県の『With』でした。群馬も1チーム優勝できてほっとしました。しかしながら、関東大会も勝ち上がっていくには、体力・気力・技術の維持をしていかないと難しいことが良くわかりました。

また、20回の記念になればと思い、各チームに群馬県カラーオレンジ色の『縁起だるま』をお渡しいたしました。これからも、皆様が『七転び八起き』の精神で、バスケットを愛し続けて頂ければ幸いです。

群馬県の課題として、授乳場所（部屋）が確保できなかったことや、群馬県のチームが8チームしかなく、会場係・駐車場係・TO等で、多くの県内外の協会や連盟の方々にご協力を頂かなければ運営できなかったことです。もっと、ママさんバスケを知ってもらいチーム数を増やせたらと思います。

最後になりましたが、多くの方のご協力を頂き、大きな事故も無く終了することができました。本当にお世話になりありがとうございました。世界遺産群もございますので、ぜひ、皆様、群馬県へお越しくださいませ。

（群馬県家庭婦人バスケットボール連盟理事長　堀込 庸子）

第16回 北信越ママさんバスケットボール交歓大会

日 時 平成26年8月23日（土）・24日（日）

場 所 長野県 長野市 ホワイトリンク

参加チーム数

計22チーム（一般の部／新潟2・長野9・富山1・石川3・福井1）
（シニアの部／長野5・石川1）

8月23日（土）24日（日）に第16回北信越家庭婦人バスケットボール交歓大会が長野県長野市「真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）」を会場に開催された。新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県の22チームが参加し、3ブロックに分けて、交歓大会を開催した。一般の部16チーム、シニアの部6チームで行った。暑い中であったが、大きなけがや病気になる選手がいなく大会を終了することができた。懇親会では、一年に一度会う北信越地区のママさんバスケットボールの仲間と楽しい時間を過ごすことができた。

代表者会議では、①新潟県佐渡市で行われた全国大会の結果と今後の開催地、②全国ゴールデンシニア大会の申し込み変更点、③ブロック大会支援金、④コーチライセンス義務づけ、⑤日本家庭婦人バスケットボール連盟の加盟状況を報告し、共通理解が図られた。

平成27年度開催は、8月22日（土）23日（日）新潟県柏崎市「柏崎市総合体育館」で行われることが決定した。

（北信越ブロック常任理事・新潟県家庭婦人バスケットボール連盟理事長
富井 茂）

第15回 近畿女性バスケットボール交歓大会

日 時 平成26年8月9日（土）・10日（日）

場 所 大阪府 羽曳野市 はびきのコロセアム

参加チーム数

計24チーム
（一般の部／兵庫2・大阪2・京都2・奈良2・和歌山2・滋賀2）
（シニアの部／兵庫1・大阪1・京都1・奈良1・和歌山1・滋賀1）
（ゴールデンの部／兵庫1・大阪2・京都1・奈良1・滋賀1 ）

第15回近畿女性バスケットボール交歓大会が、平成26年8月9日・10日に日本家庭婦人連盟副会長山田洋子様にご出席いただき、大阪府羽曳野市立はびきのコロセアムで開催されました。近畿2府4県の代表24チームが、一般の部・シニアの部・ゴールデンシニアの部の4ブロックに分かれ、熱戦が繰り広げられました。しかし、残念なことに台風の襲来に会い地元羽曳野市に避難勧告が出たため10日の各ブロック順位決定戦、プラチナシニア交流戦が中止となってしまいました。今大会史上初の危機に対応すべく主催者として懸命に対応したつもりですが、中止の決定時期、連絡網など反省点も多く参加の皆様には大変ご迷惑をおかけすることとなってしまいました。反省点を踏まえ、今後の課題としたいと思います。

さて、今大会は第15回記念ということで、近畿女性連盟旗を作成披露させて頂きました。これは、題字「近畿はひとつ」が佐藤静子近畿女性連盟会長に、デザインは大阪女性連盟伊藤浩平広報部長によるもので株式会社アシックス様のご協力で作成できました。開会式で披露できたことは台風の襲来とともに参加者の記憶にとどまり、近畿連盟の団結がますます深まるものと確信しています。また、連盟旗と同じデザインでクリアファイルも作成し関係の皆様にお配りしました。

今後の課題としては、チーム数の少ない県の選手重複問題、各府県の代表チーム選考方法などがあり、私たち一人一人がバスケットボールを普及させていく責任を持つ意味で既婚枠を撤廃したり、未登録チームのお試し参加大会なども考えていかなければならないと考えています。

最後に、大会を支えてくださったすべての皆様にお礼を申し上げて大会報告とさせていただきます。ありがとうございました。

（近畿ブロック常任理事・大阪女性バスケットボール連盟理事長　菅原 福子）

第14回 中国地区ママさんバスケットボール交歓大会

日 時　平成26年11月22日（土）・23日（日）

場 所　岡山県 総社市 きびじアリーナ

参加チーム数　計31チーム（鳥取2・島根2・岡山15・広島6・山口6）

山口県から始まった中国ママさん交歓大会も14回目となり、中国5県輪番制となって3度目の岡山県開催は、「桃太郎縁の地」総社市きびじアリーナに於て31チームの参加で行われました。今回は岡山県ママさんバスケットボール連盟設立10周年記念大会として、二日間開催という中国大会初の試みになりました。県内15チームのママさん選手達が運営とおもてなし、そして試合と多忙ではありましたが全国大会開催の経験を生かし「楽しんでもらえる大会にしよう！」と準備の段階から一致団結して当日を迎える事ができました。2日両日参加25チーム2ブロックと、1日のみ参加6チームの交流戦に分け計48試合を行い、スピリッツァ（広島）ママクリスタル(島根)の優勝で幕を閉じました。いつもながらママさんパワーの白熱した肉弾戦の中に、笑いあり家族の応援ありで和気藹々とした空気が体育館に広がっていました。参加された各県ママさん選手からも「沢山の試合ができて楽しかった」「トレーナールームのおかげでケガもなく助かりました」「懇親会の笑いヨガが良かった」「沢山のお土産をありがとう」「ミニ全国大会をあじわえたようでした」等多くの声をいただき、地区大会の趣旨である、普及・交歓の大きな成果を感じました。

開会式、懇親会での橋本会長のお話を初めて耳にした若いママさん達からも、日本家庭婦人連盟の歴史そして思いを知って「家庭と両立しながら長く続けて全国大会に行きたい」と嬉しい言葉を聞けました。

今回の二日間開催の目的は他のブロックに遅れているから…ではなく、より多くのチームに参加いただき県大会には無い楽しさをあじわってもらいたい…という思いでした。多数の参加チームを一日で運営する問題点を課題の1つとして、各県が無理のないより良い中国大会をつくって行きたいと考えます。

（岡山県家庭婦人バスケットボール連盟理事長　伊﨑 基女）

第12回 四国家庭婦人バスケットボール交流大会

日 時　平成26年8月9日（土）・10日（日）　　場 所　高知県 高知市 高知県立県民体育館

＊当日の気象状況悪化でやむなく中止

第10回 九州地区ママさんバスケットボール交歓大会

日 時　平成26年8月16日（土）・17日（日）

場 所　熊本県 玉名市 玉名市総合体育館

参加チーム数　計15チーム（福岡5・佐賀2・熊本3・宮崎1・長崎4）

第10回九州地区ママさんバスケットボール交歓記念大会は、平成26年8月16日、17日の二日間、熊本県玉名市の玉名市総合体育館にて開催されました。

参加チーム、15チームで総勢200人の参加をいただき、記念大会ということもあり、九州ブロックでは初めて全部のチームの参加の懇親会を開催することができました。

大会もさることながら、九州ブロックは、連盟未発足県が4県あり、かなり全国からすると遅れを取っているブロックですが、これをきっかけに盛り上がりそうな九州ブロックです。

懇親会では、来賓のかたもびっくりするほどのパワーで、来年も楽しみです。

大会も、無事にケガもなく終了し、関係者のみなさんに感謝いたします。

来年は、宮崎開催ですが、今後は連盟設立を全県にできるように、九州の底力を見せていきたいと思います。

（九州ブロック常任理事・熊本県家庭婦人バスケットボール連盟理事長　野田 美智子）

〈2〉国際交流大会の開催

2017年日韓ママさんバスケットボール親善大会

期日：平成26年5月10日（土）・11日（日）　　場所：韓国 ソウル市　淑明女子高校

参加チーム：埼玉県家庭婦人連盟代表（選抜）チーム

〈3〉会議の運営

＊ 理事会・常任理事会の開催、運営委員会（月1回／議事録作成）の開催

＊ 主催する全国大会関係会議の開催

〈4〉ＪＢＡコーチライセンス導入対応・競技規則の確認・都道府県連盟女性審判育成状況の把握

＊ JBAコーチライセンス制度、H27年度より実地についての周知
＊ ママさんルール・推薦チーム数及び出場チーム決定方法の見直し
＊「女性審判員について」アンケートの実施と結果報告

〈5〉広報活動

＊ 全国ママさん交歓大会における記者発表、当日の朝日新聞社報道活動協力、大会結果まとめ
＊ 会報誌の発行、関係団体からの情報収集や各大会の写真撮影

〈6〉普及事業

＊ 県連盟設立推進（現在43連盟）
特に九州地区の県連盟設立推進を強化、県担当者の力添えで沖縄県連盟設立を準備中
＊ 日本連盟ホームページ管理
事業内容を広く伝えるため、事業全般の事前連絡及び結果などを公開

〈7〉外部団体との協力事業

＊ WJBL講師によるバスケットボールクリニックの開催
期日: 平成26年10月2日（木）／ 場所: 国立代々木第二体育館
＊ WJBLリーグ戦等の観客動員
オープニングゲーム及びファイナルゲームの案内

〈8〉JBA及び後援・協賛・協力各社との交流

＊ JBA会員登録システム(TeamJBA)における当連盟登録状況の管理
＊ 全日本総合バスケットボール選手権大会に広報及び競技部門での協力
＊ 大会助成金・協賛金申請及び請求業務、協賛・協力会社との契約更新・後援名義申請業務

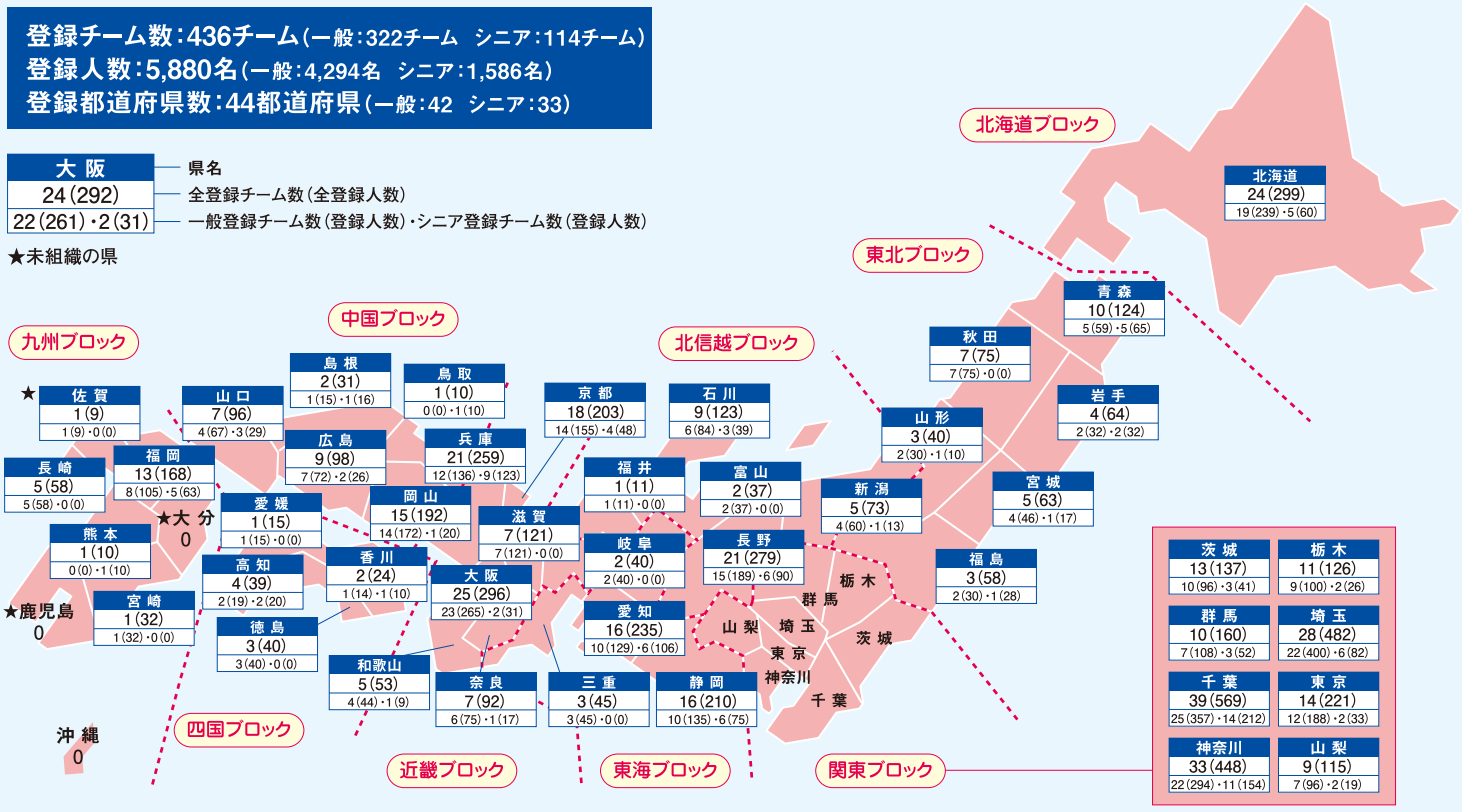
〈9〉東日本大震災復興支援

＊ 第33回全国ママさんバスケットボール交歓大会 及び第13回全国ゴールデンシニアバスケットボール大会において、開催県の協力により実施

平成27年度　日本家庭婦人バスケットボール連盟「加盟登録状況」

2015.6.7現在

登録チーム数：436チーム（一般：322チーム　シニア：114チーム）
登録人数：5,880名（一般：4,294名　シニア：1,586名）
登録都道府県数：44都道府県（一般：42　シニア：33）



平成27年度　こんな事業を行います！

〈1〉全国大会の開催、ブロック大会の支援

第34回全国ママさんバスケットボール交歓大会
期日：平成27年7月24日（金）・25日（土）・26日（日）　場所：北海道 札幌市 北海道立総合体育センター（北海きたえーる）

第14回全国ゴールデンシニアバスケットボール大会（ねんりんピック協賛イベント）
期日：平成27年10月3日（土）・4日（日）　場所：山口県 防府市 ソルトアリーナ防府

ブロック大会　＜全国9ブロックの開催支援。特に九州地区に重点をおく＞

第21回（山口杯）北海道家庭婦人バスケットボール連盟結成記念大会
期日：平成27年9月26日（土）・27日（日）　場所：北海道 美瑛町

第17回 東北ママさんバスケットボール交歓大会
期日：平成27年8月29日（土）・30日（日）　場所：宮城県 仙台市 元気フィールド仙台宮城野体育館

第21回 関東ママさんバスケットボール交歓大会
期日：平成27年9月19日（土）・20日（日）　場所：埼玉県 さいたま市 さいたま市記念総合体育館（Vアリーナ）

第17回 北信越ママさんバスケットボール交歓大会
期日：平成27年8月22日（土）・23日（日）　場所：新潟県 柏崎市 柏崎市総合体育館

第13回 東海ママさんバスケットボール交歓大会
期日：平成27年11月28日（土）・29日（日）　場所：愛知県 豊川市 豊川市総合体育館

第16回 近畿女性バスケットボール交歓大会
期日：平成27年8月22日（土）・23日（日）　場所：滋賀県 大津市 県立体育館・ふれあいスポーツセンター

第15回 中国地区ママさんバスケットボール交歓大会
期日：平成27年10月4日（日）　場所：鳥取県 鳥取市 コカ・コーラウエストスポーツパーク

第13 回 四国家庭婦人バスケットボール交流大会
期日：平成27年8月22日（土）・23日（日）　場所：徳島県 板野郡 北島北公園総合体育館（サンフラワードーム）

第11回 九州地区ママさんバスケットボール交歓記念大会
期日：平成27年8月1日（土）・2日（日）　場所：宮崎県 宮崎市 宮崎市体育館

〈2〉国際交流大会の開催

＊2015年日韓ママさんバスケットボール親善大会は北海道札幌市で開催の第34回全国大会時に開催を予定していたが、国際バスケットボール連盟（FIBA）制裁により中止。

〈3〉会議の運営

＊理事会・常任理事会（年2回）の開催、運営委員会（月1回／議事録作成）の開催　＊主催する全国大会関係会議の開催

〈4〉JBAコーチライセンス導入対応・競技規則の確認・都道府県連盟女性審判育成状況の把握

＊JBAコーチライセンス制度の伝達と全国大会での実施　＊ママさんルール・推薦チーム数及び出場チーム決定方法の見直し
＊「女性審判員について」アンケートの実施と結果報告

〈5〉広報活動

＊全国ママさん交歓大会における記者発表、当日の朝日新聞社報道活動協力、大会結果まとめ
＊会報誌の発行、関係団体からの情報収集や各大会の写真撮影

〈6〉普及事業

＊県連盟設立推進（現在44連盟）　特に九州地区の県連盟設立推進を強化
＊日本連盟ホームページ管理　事業内容を広く伝えるため、事業全般の事前連絡及び結果などを公開

〈7〉外部団体との協力事業

＊WJBL講師によるバスケットボールクリニックの開催　期日：平成27年8月28日（金）／場所：国立代々木第二体育館
＊WJBLリーグ戦等の観客動員　オープニングゲーム及びファイナルゲームの案内

〈8〉JBA及び後援・協賛・協力各社との交流

＊JBA会員登録システム(TeamJBA)における当連盟登録状況の管理
＊全日本総合バスケットボール選手権大会に、広報及び競技部門での協力予定
＊大会助成金・協賛金申請及び請求業務、後援・協賛・協力会社との契約更新、後援名義申請業務

〈9〉東日本大震災復興支援

＊大会タイトルに「東日本大震災復興支援」をつけないが、第34回全国ママさんバスケットボール交歓大会及び第14回全国ゴールデンシニアバスケットボール大会において実施の予定

第35回
全国ママさんバスケットボール交歓大会
期日：平成28年7月29日（金）・30日（土）・31日（日）
場所：福岡県　福岡市　アクシオン福岡　予定

第15回
全国ゴールデンシニアバスケットボール大会
（ねんりんピック協賛イベント）
期日：未定　場所：長崎県

お問い合わせ先と連絡先

総務・普及委員長：杉浦八重子
競技・審判委員長：橋本不二子
広報委員長：海老原矩子
事務局長：野口　加代

ホームページアドレスです。アクセスしてネ！
http://lady.japanbasketball.jp/

発行：日本家庭婦人バスケットボール連盟　代表者　山田 洋子
編集：日本家庭婦人バスケットボール連盟　広報委員会
ザママさんバスケット　第27号）発行日：2015年9月